



すべての子どもの安心と 子育て支援の充実について

公明党 日吉 弘子

問 少子化が進む中、伴走型子育て支援が重要であると考
え妊婦健診と産後ケアの充実を要望してきましたが、令和
5年度の事業内容について伺います。

答 (保健福祉部次長) 妊婦健診の費用助成の総額を現行
の6万円から6万4千円に増額します。また産後ケア事業
はこれまでの通所型から、助産師がご自宅に伺う訪問型に
よる対応を開始する予定です。

問 ファミリーサポートセンター事業の拡充が重要である
と考えますが見解を伺います。

答 (保健福祉部次長) 現在、この事業の対象児童は小学
校3年生までですが6年生までに引き上げます。またひと
り親家庭への支援として利用料金を半額にします。

問 特定不妊治療と併せて受ける先進医療の費用の市独自
の助成について見解を伺います。

答 (保健福祉部次長) 先進医療は、妊娠の可能性を高め
るため併用されることが多いと判明しましたが、保険適用
外のためその費用の一部を助成しサポートしていきます。

問 ヤングケアラー支援として子どもたちが相談しやすい
ことが大切ですが、子どもたちに身近なSNSを活用した
相談体制について見解を伺います。

答 (保健福祉部次長) 子どもたちに最も親しみやすいS
NSを活用し24時間いつでも気軽にアクセスでき、ヤング
ケアラー当事者や元当事者による相談につながる体制の整
備を図ります。

問 小中学校の給食費の無償化について市長の見解を伺
います。

答 (市長) 教育委員会で給食費の在り方を検討してい
きますので、その議論を踏まえ対応していきます。

その他の質問

・SDGs未来都市えびなの推進について



にぎわい振興の取り組みについて

改進黨 藤澤 菊枝

問 にぎわい振興に寄与する取り組みについて伺います。

答 (市長) 市では、令和3年4月にえびな元気にぎわい
振興計画2021を策定し、にぎわいと活力のあるまちの
実現に向けて取り組んでおります。新型コロナウイルス感
染症の影響もありましたが、本市ならではのにぎわい地域
資源を活性化・活用し、15の施策、39の事業を実施して
います。今後も、にぎわいの創出や市内の回遊性の向上、さ
らには市の魅力を発信しながら、コロナ禍を乗り越え、市
民の皆さんがより一層元気になるよう、にぎわい振興の
取り組みを積極的に行ってまいります。

問 地域や事業者が実施するイベントに対する、現状の市
の支援策について教えてください。

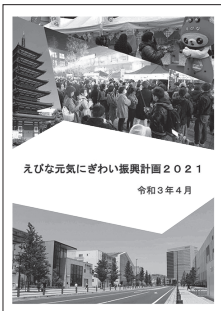
答 (経済環境部長) 現状はにぎわい振興に特化した補助
金はありませんが、商店街などのイベントに対しては、が
んばる商店街応援事業補助金、自治会のイベントに対して
は、地域づくり事業交付金といった補助制度により各種イ
ベントの支援を行っています。

問 今後、さらににぎわい振興に取り組んでいただく地域、
事業者への支援について考えを伺います。

答 (市長) 令和5年度は、にぎわい振興事業補助金を創
設します。これは、ある程度の集まりがあって、みんな
何かにぎわいを創出しようというものについて補助をして
いくものです。今後も地域の郷土愛の醸成と地域コミュニ
ティの活性化を図りながら、持続可能なにぎわい振興に寄
与していきたいと思っています。

その他の質問

・市制施行50周年記
念事業及びプラス
1事業について



えびな元気にぎわい
振興計画 2021
令和3年4月



市民の交通移動政策について

日本共産党 松本 正幸

問 令和4年第2回定例会の一般質問で、南部地域の高齡
者の外出支援にぬくもり号の増車や停留所の増設について
取り上げました。ぬくもり号は、65歳以上の高齡者の移動
支援としては評価できるものです。

ぬくもり号、さくら号、コミュニティバスを一体化して
新たな公共交通網を構築することで、市民全体の利便性向
上と外出支援の充実が図れるというものです。今後、運行
ルートの選定、停留所設置に関わる地権者交渉、路線認可
申請などを行い、10月から段階的に実証運行を実施してい
くとのことですが、ぬくもり号、さくら号、コミュニティ
バスの現状について伺います。

答 (市長) 高齢化が著しく進む中、高齢者が住み慣れた
地域でいつでも元気に暮らし続けるため、外出支援は重要
と認識しております。ぬくもり号とさくら号は、65歳以上
の高齡者や障がい者を対象に、介護予防や健康増進を目的
として運行を行っております。コミュニティバスは、公共
交通が脆弱な地域を対象として運行しており、市民の重要
な移動手段であると認識しております。

今後の福祉的な外出支援策については、さらなる充実に
向けての検討を行い、コミュニティバスとぬくもり号を一
体化した中で福祉的な部分も多く入れて検討に入っている
ところです。

問 ぬくもり号、さくら号は現状のままとし、新たにデマ
ンド方式を導入する考えはないのか伺います。

答 (保健福祉部次長) デマンド方式の導入なども研究し
ていきながら多様なニーズにきめ細かく対応できるよう、
さまざまな角度から検討してまいりたいと考えています。

その他の質問

・新型コロナウイルス感染症拡大の対応策について
・環境問題について